



木々の新芽や草が少し緑になって、春の訪れが間近に感じられる今日この頃となりました。

コロナウィルスの感染が拡大し、ウィルスは目に見えないだけに、心配な状況が続いています。早く収束してほしいものです。

さて、3月の開講日は、右の通りです。よろしくお願いたします。

2020 << 3月 >>

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

ヒント

PINコードとパスワードってどう違うの？

さまざまな場面で見かけるPINコードって何？

新しいスマホを契約してSIMカードを挿入したとき。無線LANの設定をするとき。そしてLINEのセキュリティを強化したいときなど、「PINコードを設定してください」と言われた経験はあると思います。

でもこのPINコードって何なのかをご存知ですか？

PINコードのPINとは「Personal Identification Number（個人識別番号）」の略で、機器やサービスの盗難、紛失、第三者による不正利用を防ぐための暗証番号のことです。場合によっては特殊文字や大文字と小文字を含む場合もありますが、基本的には数字4桁で設定します。

でも暗証番号というならパスワードと同じじゃないの？何が違うの？と思いますよね。そこで今回はPINコードとパスワードの違いについてご説明します。



PINコードとパスワードの違いって？

パスワードはSNSやサイト、アプリへのログインといったものに関連付けられています。これに対しPINコードはスマホやPCといった端末やSIMカードに関連付けられています。

つまり、パスワードはインターネット上に、PINコードは端末上にそれぞれ格納されている、ということが出来ます。

たまたま、PINコードは4桁程度の数字の羅列で、パスワードは英数字の混ざったもの、といった認識をしている人もいますが、定義としてこれは間違いです。

でもこれだけの説明では「だから何？」と思いますよね。

実はこの違いによって安全性に大きな違いが出てきます！

パスワードよりも PIN コードのほうが安全なの？

普段、SNS やフリーメールなどのネットサービスを使う際に設定するパスワードって最低でも 6~8 文字ではないでしょうか？ しかも数字、大文字、小文字、特殊文字などを使って設定しますよね。

それに比べて PIN コードは通常、数字 4 桁で設定します。ということは、「パスワードよりも安全ではない」ような気がしませんか？

実際はパスワードよりも PIN コードのほうが安全だといわれています。なぜなら前項でご説明したように PIN コードは端末に関連付けられているため、万が一、パスワードだけを盗まれたとしても、その端末がなければ、ログインすることができないからです。

例えば LINE で PIN コードを設定していない場合、パスワードを盗まれてしまうと、別の端末から不正ログインされてしまう危険があります。でも PIN コードを設定していれば、その端末でなければログインすることはできません。

さらにパスワードはサーバーに転送される際に傍受されたり、サーバーから盗まれたりといったことがあります。でも PIN コードは端末に保存されているだけで、どこかに転送されることがありません。仮に端末を盗まれたとしても、PIN コードを解読される可能性はパスワードより低いんです。

PIN コードとパスワードの違いについてご理解いただけたと思います。

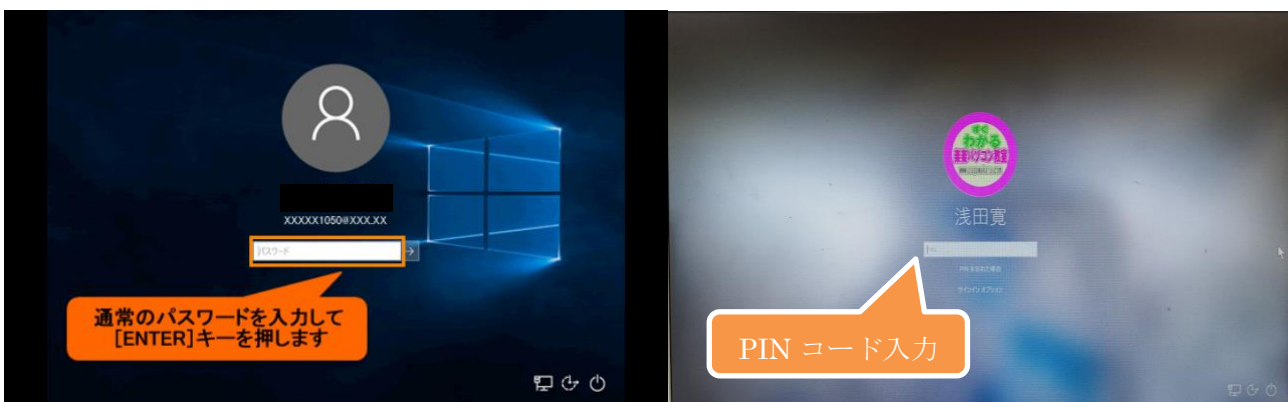
でも実は PIN コードとパスワードの違いがわかっても、やっぱり勘違いしてしまうケースがあります。それは機種やサービスによって PIN コードのことをパスコードと呼ぶ場合があるからです。

代表的なのが、iPhone を使う際に入力するパスコードです。iOS9 以降は 6 桁の数字を入力してログインしますが、これはいわゆる PIN コードです。またいくつかのアプリでも PIN コードをパスコード(またはパスワード)と呼んでいるものがありますのでご注意ください。

PIN コードの設定でより安全にスマホを使いましょう

スマホの紛失、盗難はもちろん、パスワードの漏洩で個人情報を抜き取られてしまったり、悪用されてしまったりすることは絶対に避けたいですよね。そういった際に役に立つのが PIN コードです。

もし、ご自身のスマホや PC で PIN コードを設定していない場合は、できるだけ早く設定することをおすすめします。



Windows10 のログイン画面